



水原 耕一 議員

Q (仮称)筆の里創造の丘公苑「交流施設」の計画内容は

A 町長

本町ならではの魅力的な交流環境の構築に努める。

【Q1】 建設にあたっての、今後のスケジュールは。
【A1】 来年3月までに基本設計を行い、来年末には実施設計を完了したい。その後令和6年に建設業者を選定し、令和8年3月の供用を目指す。

【Q2】 設計図を確認すると劇場広場を作る計画だが規模は。また、他にも創作活動ができる部屋があるが利用計画は。
【A2】 劇場広場は検討中だが隣接するホールは最大200人程度のスペースを考えている。コンサートや演劇など多目的に利用できるようにしたい。また、他にも木工、絵画、陶芸など様々な創作活動ができる場所を予定している。

【Q3】 施設内に作るレストランをPark Keeper導入により運営していくようだが進め方は。
【A3】 民間事業者の資産とアイデアを活かす制度だが、令和5年度に公募・選定を行い、令和6～7年度に整備を予定している。

【Q4】 地域リノベーションを創出する人材を育成する計画を立てているが、取り組み方は。
【A4】 ここで言う創作活動を通じて町の魅力を発信してくれる人材を募集または育成していく。



Q 公立中学校の部活動の指導が民間に移行する。町の体制づくりは

A 教育長

広島県教育委員会と連携を密にし協議、検討していく。

【Q1】 教員の働き方改革の一環として休日の指導を民間に移行するよう国から提言案が出された。教員の休日出勤の有無と残業状況は。
【A1】 部活動は平日2時間、休日3時間とガイドラインで示しているが、大会への出場等土日の出勤や時間延長もある。

【Q2】 休日の指導者の人材確保はどのように考えているか。
【A2】 民間のスポーツクラブやスポーツ少年団の活用をはじめ、スキルを持った住民や保護者等も考えている。

【Q3】 民間に移行する指導者に手当を支払うことも想定される。保護者の負担にならないか。
【A3】 保護者による費用負担の発生が想定される。国や県による支援がないか検討していく。

【Q4】 民営化されると教員が休日の指導を行うには民営会社の元で、行わないといけない。教育公務員の兼職兼業届の取り扱いの検討が必要になってくる。町教育委員会の考えは。
【A4】 地域での部活動において休日の指導を希望する教員に対しては兼職兼業の許可が必要であり、その運用については、今後の検討課題と認識している。



中島 数宜 議員

Q DXの推進と業務の効率化を図る考えはあるか

A 町長

行政運営の効率化等をDX推進計画の基本方針に掲げ、業務の効率化に取り組んでいる。

【Q1】 DXの現状と、今後の取り組みは。
【A1】 住民サービスの向上と業務の効率化を同時に実現させるため、デジタル技術を活用して、計画的・継続的に行政サービスの改革を推進するという趣旨に則り、可能なところから変革している。

【Q2】 デジタル化が図れる業務は。
【A2】 現在、行政手続きのオンライン化や、庁内ネットワークの無線化、オンライン決済、また書かない窓口を実現するための「総合窓口支援システム」の導入、LINE機能の拡充等に取り組んでいる。

【Q3】 自治会長へ依頼文書等をスマホにより情報提供を行っている市町がある。ペーパーレス化と効率化に繋がる。導入できないか。
【A3】 通信機器の扱い方に差があったり通知の見落とし等、課題があるが、実証実験を行っている市町を参考に検討し研究していく。

【Q4】 高齢者見守りネットワーク等の事業は情報提供者に依存する場合が多い。人の介在頻度を少なくし、早期に見できるシステムの導入ができないか。
【A4】 現在26事業者と情報提供の協定を締結している。現在の取り組みを残しつつ、有効なツールがないか研究していく。



竹爪 憲吾 議員

Q 安心・安全に暮らせる町づくりの現状と今後は

A 町長

安心・安全を基本目標に掲げ、自然災害対策を課題と考え鋭意取り組みを進めている。

【Q1】 防災・減災対策強化の進捗状況と今後は。
【A1】 砂防施設等の緊急的な事業は完了している。再度災害防止事業19か所のうち、6か所完了し、5か所は工事中である。残る箇所は早期完成を目指して促進している。

【Q2】 道路交通網の整備・充実の進捗状況は。
【A2】 県道矢野安浦線はバイパス2工区として、出家庭地区の陣界交差点から萩原地区の東中学校付近までの延長1.3kmのバイパス事業が進んでいる。

【Q3】 防災観点での道路整備として袋小路状の団地等の避難路の整備は。
【A3】 平成30年災害以降、7か所で完了し、現在6か所で計画を検討している。

【Q4】 生活インフラの整備状況は。
【A4】 上水道は熊野団地の経年劣化した老朽石綿管の更新事業を進めており、本年度中に事業完了する予定。今後は、主に町内に点在する経年劣化した老朽管路について順次更新していく予定としている。

【Q5】 県道瀬野呉線バイパスは、深原公園側の工